



会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2016年9月6日 12：30～13：30

◆ 会長挨拶



辻村 彰秀 会長

皆さん、こんにちは！  
先週のパナー公式訪問では会員皆さまにご協力いただきありがとうございます。佐野パナーも喜んでお帰りになった事をご報告いたします。  
本日は、9月の休日についてお話をさせていただきます。今日は19日の“敬老の日”、22日の“秋分の日”と2日国民の休日があります。

“敬老の日”は兵庫県の村で行われていた「としよりの日」が始まりとされています。その主旨は「老人を大切に、お年寄りの知恵を借りて村作りをしよう！」と、農閑期の気候も良い9月15日と定めて、敬老会などが行われていました。この慣習が1950年からは兵庫県全体で行われ、その後、全国に広がったものです。1964年に「としより」という表現が好ましくないということで、「老人の日」と改称され、その翌年1965年に9月15日を「敬老の日」とする国民の祝日として制定されました。その他の説としては、聖徳太子が「悲田院」という、今でいう老人ホームを作ったのが9月15日だということでこの日が「敬老の日」になったというものもあります。

2003年からは「ハッピーマンデー制度」のため、9月の第3月曜日に変更になっています。現在、「敬老の日」はお祝いの日で、ももとの9月15日は老人の福祉への理解や取り組みに対する啓発の日として「老人の日」とされているそうです。なにか無理やりでわかりにくいです。  
“秋分の日”は『暦象年表』という国立天文台が作成する冊子によって決定されます。年によって異なりますが、大体9月22日または23日です。「先祖を敬い、亡くなった人へのしのぶ日」として制定されました。そのため、この日はお彼岸の中日となっています。

日本には四季があり、3月の春分の日、9月の秋分の日があって、なんで夏、冬には祝日がないのか、これは元々、明治時代にあった歴代の天皇、皇后、皇族の霊を祭る春季、秋季皇霊祭の祝日が、昭和23年に国民の祝日として制定され、継承されているためです。  
昨年9月にシルバーウィークといわれ、土日が休みなら5連休がありました。これは祝日と祝日に挟まれた日は休日なり祝日になるためです。この次にこのシルバーウィークが起ころのは2026年です。いぶん先の話です。  
休日が増減することにはいろいろ議論はありますが、できればちゃんとした由来、意義がある日に国民皆で祝える祝日にしてほしいなと思っております。

◆ 幹事報告



櫻井 康二 幹事

- 1)9月8日（木）9：30～10：30オンライン研修「クラブのためのよくわかる寄付と承認」が開催されます。参加される方は事務局の諸星さんまでお願いします。
- 2)「地区大会記念懇親ゴルフコンペのご案内」が来ています。平成28年9月26日（月）レイクウッドゴルフクラブにて開催。出場を考えている方は事務局の諸星さんまでお願いします。
- 3) 10月16日（日）秦野市文化会館にて地区大会が開催されます。皆様の出席を宜しくお願いします。

◆ 委員会報告

親睦委員会・須藤委員

配布したお月見例会の時間が変更になりました。受付が18：00～18：10、例会が18：10～18：40、懇親会が18：55～20：55の予定です。皆さん懇親会へのご出席をよろしく願います。

◆ 出席報告

木村 啓滋 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
9月6日	39(35)	29	0	82.86%
8月30日	39(37)	30	0	81.08%
8月23日	39(36)	30	0	83.33%

- 【欠席者】6名  
大川 裕、小林 和彦、一寸木 芳行、富田 浩一朗、大野 英明、大高 英之  
【今回MU】0名  
【前回MU】増加なし  
【前々回MU】増加なし

◆ Table flower

- スプレーカーネーション
  - カクトラノオ
  - 秋明菊（しゅうめいぎく）
  - パニカム
- 【花言葉】  
スプレーカーネーション：「感動」  
カクトラノオ：「希望」  
秋明菊：「忍耐」



◆ 卓話

「小田原でのラグビーの動き」



小田原市ラグビーフットボール協会 会長 高橋 敦朗 様

去年のワールドカップからラグビーは盛り上がりを見せ、リオのオリンピックでは7人制ラグビーで強豪国を撃破しました。大変な実績だと思います。そして小田原が日本代表の合宿地ということで、神奈川県と小田原市と日本ラグビーフットボール協会と三者で合意文書を交わしました。そういったことを踏まえ、今後の小田原ラグビーフットボールの動きに関してお話しさせていただきます。  
小田原のキャンプ地が決まったのはどうしてかという、まず前任のエディー・ジョーンズ監督が小田原の城山競技場を見て、ロケーションが非常にシークレットである、三方を山に囲まれて極秘練習に素晴らしい環境だと気に入ってくれたからだそうです。そしてスポーツ施設が充実してプールも温泉もあるヒルトンが近くに存在していたためもあったようです。それらが切っ掛けとなって小田原が候補地となりました。  
エディー・ジョーンズ氏は元々オーストラリアの方ですが、日本の血が混じっていて奥様も日本人です。彼が最初に日本でコーチングしたのが東海大で、それが指導者への最初の一歩でした。それからオーストラリア、南アフリカ、サントリーなどの監督を務めてきました。彼の指導力で日本人の潜在能力が引き出され、去年の実績に繋がったと思います。ワールドカップに向けて後3年、神奈川県や小田原市がどういったスタンスで商業的にも結び付けていくか、その取り組みを今考えている状況です。横浜国際競技場は準決勝から4試合くらい使われることがほぼ決定しています。収容人員が7万人強ですので4試合で約30万人の動員数となります。外国から来られる方も多く、日本に2～3週間滞在して、2～3試合を観戦していくパターンが多いようです。ラグビーの試合は7～10日のスパンがありますので、その間の行動は観光になります。横浜が主会場になれば、新幹線ですぐの小田原から箱根・伊豆が間違いなく観光目的地になるだろうと思います。それに向けて、神奈川県や小田原市・箱根町がどう取り組んでいくか、どう盛り上げていくか、海外のお客さんをどう楽しませるか、を今考えている最中です。地元企業、特に商業関係の方にどう取り組んでいただけるかは真剣に考えていかないと、取りこぼしの恐れがあると思います。商業的な試算では2300億円程度の経済効果があるのではないかと言われています。ラグビーの場合、ワールドカップの登録数が20チームほど。サッカーに比べると少ないですが、2か月に亘る経済効果と考えれば大きいのではないのでしょうか。横浜と小田原、神奈川県内各地でも、誘致に向けて三浦や相模原、厚木、大磯などが名乗り出ています。

小田原は来年4月まで競技場の改修が決まっていますが、各方面との綱引きが始まろうとしています。ラグビーを小田原でいかに盛り上げていくかも非常に重要なポイントになってくるでしょう。観光地・箱根を控えているのは小田原のメリットですが、意思統一を図って皆で盛り上げて欲しいというのが協会からのお願いです。  
小田原市ラグビーフットボール協会は発足して1年になり、ラグビー人口・ラグビーファンをいかに増やすかに力を入れています。子供たちのスクールは最初12～3名でしたが、今は50名です。スタッフも20名くらいに増えました。やはり昨年度のブームからどこの市でも人気が上がったようです。昔ラグビーが盛んだった頃の早明戦や、成人の日に大学ラグビーの決勝戦があったような、そんな文化は無くなっているの、これからいかに興味を持つ人を増やしていくかが我々の責任と思っています。資料をお配りしましたが、今週土曜日に横浜国際競技場でトップリーグの試合があります。横浜国際競技場は今までラグビーの試合は全くやったことがありません。初めての試みなので、是非ご覧いただければと思います。  
小田原には30年くらい前に『小田原ラグビークラブ』が存在していました。私も何度かお手伝いしていたのですが、ニュージーランドに100点ゲームで負けたことなどからラグビーブームが去り、衰退が始まりました。ですから去年の活躍がいかにブームの切っ掛けになったかお分かりになるとと思います。ワールドカップまでは3年しかありません。大切な期間です。皆様にラグビーを応援していただければ有り難いです。地元・西湘地区がラグビーに対してどのような関心を持ってくれるのか、商業的に観戦のお客様をいかに取り込んでいくか、真剣に捉えて考えて頂きたいと思っています。  
ラグビー人口ですが、大学では盛んで部員も増えていますが、高校のラグビー部はピークがTVドラマ「スクールウォーズ」の頃でした。今はだいぶ減っていると思います。小田原では西湘、旭丘、城北工業の3校が登録していますが、部員数が少なく合同で試合に出場したりしていません。西湘地区にはなかなかラグビー文化が根付かないようです。また、ワールドカップ公認キャンプ地の募集も始まっていますが、小田原が応募するかどうか話し合われています。公認キャンプ地になると競技場を開催前2か月間、全く他に利用できなくなります。陸上などに使えず、ハードルが高い感じがします。100%使われる保証もありません。メリットとしては、商標が自由に使えることです。大会前の事前キャンプ地という道もあり、これは誘致する自治体とチームとの直接交渉となります。締結すれば確実にそのチームが来ますので、小田原市もそれを考えている部分もあると思います。これから協議しながら一番良い方法で結び付けていきたいと願っています。  
ラグビーのこれからの取り組み、西湘地区の方向性をお話しさせていただきました。現在、小田原市ラグビーフットボール協会では賛助会員を募集中です。我々もボランティア団体で資金が集まりにくい状態です。どうぞご協力をよろしく願います。